

たかし



<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

創立 85 周年を迎える春にあたって ～児童の主体性の育成を目指して～

校長 本橋 忠旗

4月を迎え、開花を控えていた桜も一気に満開となり、令和6年度が新たにスタートしました。

令和6年度 高井戸第四小学校は、創立85周年を迎えます。これまで地域の皆様を中心に親子3代に渡って、本校に通われたというご家庭も少なくありません。これまで同様に、地域の皆様のご協力をいただきながら学校運営を進めていきたいと思えます。

今年度は、新1年生67名を迎え、全校児童439名(16学級)と「たかし教室」と「ことばの教室」でのスタートとなります。1・4年生は2学級、2・3・5・6年生は3学級となります。

今年度の学校教育目標は、引き続き「進んで学ぶ子」「心豊かな子」「たくましい子」「協働する子」としています。中でも「心豊かな子」「たくましい子」を重点目標として、目指す児童像を「自ら未来を切り拓き 心豊かでたくましい児童」としました。高四小のこれまでの教育活動を大事にしながら、卒業を迎える時には、児童が自分の将来に明るい希望と勇気をもって巣立つことができるよう、一日一日の教育活動を積み上げていきます。

令和5年度全国学力状況調査における意識調査(6年生)における回答では、「地域や社会をよりよくするために何がしたいか」の問いに対して、「とても当てはまる」と回答した児童が本校24.7%(都58.8%)、「あまり当てはまらない」と回答した児童が本校20.8%(都11.0%)、「当てはまらない」と回答した児童が11.7%(都9.3%)という結果でした。

これからの社会は、AI技術等の進歩とともに、先を見通すことが難しいといわれています。そのような中で、子供たちには、主体的に感性を働かせて、他者と協働しながらよりよいもの、より豊かなものを創りあげていくことが求められています。毎日の学校生活は、いわゆる教科学習を中心に進んでいきますが、その学びの先に自分の生き方や社会参画の仕方について考えさせていくことで、将来、よりよい社会の形成者としての力の育成につなげていきたいと思えます。

今年は、従来の新3年生、新5年生での学級編成替に加え、学級増による新6年生での学級編成替を行いました。6年間を通じて多くの先生と出会いながら、児童には「どのような学級にしていきたいか」「どのような時間を過ごしていきたいか」の目標を明確にしながら、その実現に向けて主体的に考え・行動してほしいと思えます。

入学式・始業式では、「よい学級やよい学年、よい学校は誰かが作ってくれるものではなく、自分たちで努力して創りあげていくもの」という話をしました。

小学校期は、人格形成の基礎となる時期です。その時期に、学校と家庭が同じ方向を向き、共に手を携えていくパートナーシップはとても重要です。子供たちと過ごす一日一日を大切に積み重ね、私たち大人が子供たちのよき道標となって見守ってきたいと思えます。

そして、その先には広い社会で活躍できる人を育てていきたいと思えます。今年度も、皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【お知らせ】

- ・ 令和6年度からPTA発行の保護者証に変わり、年度ごとに学校から「保護者入校証」を配布します。
- ・ 4月9日よりテトルの運用を開始します。欠席連絡はこちらをお使いください。また、学校だより、学年だより、保健だより、給食だよりを5月号から電子配信とする予定です。なお、地域の皆様には、従来通り配布を行う予定です。